

2017年10月5日編集

**催眠研究 第1号 昭和31年12月発行**

催眠研究の意義	小保内虎夫	1
回顧日本催眠心理学界	小熊虎之助	2
催眠研究会の発会に際して	竹山恒寿	3
催眠分析の実際	蔵内宏和	4
催眠技法と現象の経験例	前田重治	5
催眠研究の実験的側面	高橋良幸	6
催眠研究の臨床的側面	林 茂男	7
催眠と問題児	大野清志	8

**催眠研究 第2号 昭和32年5月発行**

催眠現象の客観性	中 修三	1
心理療法と教育	井坂行男	2
催眠研究の現況	池見酉次郎(他 赤木 稔、中山哲也、権藤重雄、本田龍城、福元哲四郎、千蔵 収、坂本 旭、熊谷正浩、安松昭道) 大野清志、蔵内宏和、白藤美隆、西園昌久、林 茂男、前田重治、榊田 登、山岡 淳	3
最近の研究文献一覧		11
紹介		
ヒプノドラマ(催眠劇)について	古屋健治	14
大会のお知らせ		15
編集後記		16

**催眠研究 第3号 昭和32年9月発行**

催眠研究会第二回大会所感	竹山恒寿	1
脳波による催眠研究	山岡 淳	2
被暗示性に関する実験的研究	前田重治	4
催眠感受性の研究	蔵内宏和	5
催眠の分離仮説について	高橋良幸	7
災害神経症における催眠応用の一例について	柴田 出	9

催眠夢の発生過程について	大野清志	10
実験神経症について	林 茂男	12
(文献紹介)		
パブロフ学説より見た暗示と催眠	中川四郎・杉山邦祐	13
催眠術における脳波と自律神経機能について		
	小熊虎之助・工藤勝昭・藤森聞一・本間伊佐子	16
編集後記		16

**催眠研究 第4号 昭和33年4月発行**

臨床的方法としての催眠への過信と不信	内山喜久雄	1
第三回催眠研究会の感想	堀 淑昭	2

**【論文】**

催眠性年齢退行について	蔵内宏和	3
催眠状態の生理心理学的基礎	原野広太郎	11

**【研究抄録】**

脳波による催眠研究の問題点	山岡 淳	18
催眠性睡眠の状態について〔1〕	藤沢 清	20
催眠操作中のG S R所見	白藤美隆・蔵内宏和	23
フーグ患者の催眠療法とその治療経過中のG S R所見	蔵内宏和・白藤美隆	26
催眠応用時の諸問題について	柴田 出	28
神経症の催眠療法	西園昌久	30
婦人科外来患者に対する催眠療法の経験例	瀬尾政記	31

**【文献紹介】**

M. Michael : 催眠による年齢退行中のベンダー・モーター・ゲシタルト テストの遂行		
	返田 健	34
R. M. Dorcus : 薬物の代用としての催眠の使用		
	鎮目光雄	35
J. E. Gordon : 催眠で誘導された抑圧と敵意に対する先導法と追従法の心理療法		
	返田 健	37

**【雑報】**

私の使用している催眠室について	柴田 出	39
-----------------	------	----

九州労災病院の催眠室	高橋良幸	40
------------	------	----

**【附】**

催眠研究会会員名簿		42
-----------	--	----

**催眠研究 第5号 昭和34年6月発行**

心理学の方法	宮城音弥	1
ヒプノーゼの系譜	秋元波留夫	2

**【論文】**

記憶における催眠禁止について	高橋良幸	3
情動の生体防衛機能（特に血液抗菌力）に及ぼす影響についての研究	池見酉次郎、平川一広、権藤重雄	10
生体の感染防禦力に及ぼす催眠暗示の影響（第1報）	権藤重雄、池見酉次郎	16
実験神経症	成瀬悟策	19
フーグの催眠療法	蔵内宏和、白藤美隆	28
催眠療法に関する臨床的経験	藤沢 清	42

**【文献紹介】**

性的不能症の催眠療法（Julio Dittborn）	河野良和	46
----------------------------	------	----

**【雑報】**

催眠の医学的利用（アメリカ医学雑誌より）		50
英文原稿募集		18
催眠研究会第5回大会予告		27

**催眠研究 第6号 昭和35年12月発行**

催眠研究と経験効果の問題	戸川行男	1
催眠誘導法	大野清志	3
催眠の心理力動的の問題	柴田 出	10
催眠現象と深さ	前田重治	15
催眠とパースナリティ	木村 駿	19
催眠と医学	前田重治	24
催眠歯科学	高浜清英	29

自律訓練法 .....	河野良和	33
最近の2～3の書物に現われた催眠について .....	鎮目光雄	37
研究室・研究会だより .....		41

早稲田大学心理学研究室 (木村 駿)・九州大学医学部第三内科研究室 (池見酉次郎)・九州大学医学部精神医学教室 (前田重治)・東京医科歯科大学矯正歯科学教室 (高浜靖彦)・久留米大学医学部精神神経科教室 (蔵内宏和)・東京医科歯科大学小児歯科学教室 (黒須和夫)・聖ルチア病院 (柴田 出)・歯科心理学会 (山下 幸)・大阪大学医学部神経科教室 (高石 昇)・河野教育相談所 (河野良和)・欧米見聞記 (池見酉次郎)

**【雑 報】**

メッセージ .....		2
研究出版物交換のお願い .....		9
雑誌割引購読について .....		9
国際臨床・実験催眠学会よりのお知らせ (池見酉次郎) .....		28
催眠免許状をAPAが公認 (成瀬悟策) .....		32
研修会に参加して (甲斐志郎) .....		36
催眠研究会入会案内 .....		40

**催眠研究 ..... 第7号** **昭和38年7月発行**

はしがき .....	成瀬悟策
巻頭言 .....	金子仁郎

**《原著》**

**理論**

The Psychophysiological and Clinical Significance of Autogenic Discharges and Various Forms of Autogenic Abreaction

自律性解放の心理生理的ならびに臨床的意味および自律性除反応の諸形式  
.....Luthe, W. 林 茂男 訳 3

自律訓練法と禪 .....

被暗示性についての理論的考察—因子分析的研究を主として— .....

TAT12M カードと催眠感受性との関係 .....

保坂正昭

関山守洋

**基礎実験**

容積脈波と皮膚温に及ぼす自己暗示の効果について .....

小川捷之 60  
原野広太郎

成瀬悟策

分娩に関する不安の研究—Trance を利用した無痛分娩訓練に関連して— .....	河野良和	73
<b>応用・臨床</b>		
書痙に対する自律訓練法の技法および効果について—2 症例を中心として— .....	内山喜久雄	87
無痛分娩への催眠の応用 .....	鈴木謙次	103
	小国美種	
	武田秀雄	
<b>《論文紹介》</b>		
自律訓練法：方法，研究および精神医学における応用 .....	Luthe, W.	林 茂男 訳 115
精神療法に対して，最近の催眠の性質についての研究が意味するもの .....	Orne, M. T.	吉田 護 訳 132
感情的成分と認知的成分との一貫性に関する分析 .....	Rosenberg, M. J.	原岡一馬 訳 142
催眠研究とリハビリテーションの諸問題 .....	Wright, M. E.	大野清志 訳 154
<b>《講座》</b>		
無痛分娩—精神身体医学的方法による— .....	Chertok, L.	前田重治 訳 神尾憲治 訳 166
<b>《資料》</b>		
催眠性年齢退行の 1 事例について .....	木村 駿	191
催眠を応用した乳歯の抜去に就て .....	菊地原重郎	197
偏食患者の催眠による矯正について .....	柴田 出	201
松見達俊		
催眠誘導中に急性期症状の再現をみた精神分裂病反応の 2 例 .....	山田 治	206
催眠歯科への勧誘 —その適用と問題点— .....	山下 幸	211
<b>《学会だより》</b>		
学会八年間の歩み .....	大野清志	221
1962 年欧州国際催眠会議 .....	成瀬悟策	232
研究室だより .....	木村 駿	233
催眠研究会第 7 回大会発表抄録 .....		237

催眠研究会第8回大会報告（発表抄録を含む）	249
日本催眠医学心理学会会則	268
学会入会案内	271
執筆・投稿規定	272

**催眠研究 …… 第8号** **昭和39年 9月発行**

はしがき	成瀬悟策
巻頭言	王丸 勇

**《原著論文》**

暗示による知覚の変容について	針生 亨	3
催眠時中断作業の再行傾向について	大野清志	25
スタンフォード催眠感受性スケールの標準化	梅本堯夫	35
	斎藤稔正	
	大沢春吉	
催眠感受性と性格特性に関する研究	斎藤稔正	45
催眠性睡眠と自然睡眠の異同について	藤沢 清	55
催眠性色彩幻覚の残像性質について	須田 陽	73
心理的脱感作療法	池見酉次郎	85
	中川俊二	
	草野忠良	
催眠法による乗り物酔いの治療	栗山一八	105
全健忘と催眠	山田 治	111
アルコール中毒・喝酒症における自律訓練法の効果	河野良和	119

**《翻訳・紹介》**

役割理論の研究	サービン	133
	戸田 晋訳	
催眠誘導による被暗示性の変化	ヴァイツェンホファー	153
	河津雄介訳	
催眠性年齢退行	バーバー	173
	吉田 護訳	
	谷本秀二訳	
催眠分析における粘土の利用	ラジンスキー	187
	杉田峰康訳	
	前田重治訳	

催眠的操作によるリーダーの態度に関する研究……………フィードラー	201
	白樫三四郎訳

《講座》

催眠と反社会的行動……………上川路紀久男	209
----------------------	-----

《学会だより》

催眠研究会（歯学）開かる……………	225
会員関係……………	226
学会運営……………	226
心理技術者資格認定機関設立について……………	226
心理学将来計画小委員会委員推せんについて……………	226
会員の研究資料寄贈について……………	227
催眠研究への執筆について……………	227
寄贈文献・抄録……………	227
日本催眠医学・心理学会会則……………	228
学会入会案内……………	231
執筆・投稿規定……………	231

催眠研究……………第9巻 第1－2合併号 昭和40年 6月発行

巻頭言 着実な研究の発展を（桂 広介）……………	1
--------------------------	---

原 著

恩田 彰：禅定と催眠状態との関係……………	2
前田重治・本田竜城：禅と精神分析……………	9
花沢成一：催眠感受性と主題統覚法に現れた人間関係……………	14
延島信也：対人恐怖症と夜尿症の催眠療法2例の経験……………	22
鈴木謙次：心因性無月経に対する催眠療法（直接暗示）の一例……………	27

資 料

太田俊介：邦文歯学専門誌にみられた歯科心理研究のための参考文献……………	31
--------------------------------------	----

大会発表抄録……………	38
学会ニュース……………	35
学会だより……………	65

催眠研究 第10巻 第1号 昭和40年11月発行

原 著

Hypnotherapy and Autogenic Training in the  
Eastern Europe ..... Hoskovec, J. 1  
催眠中恐怖体験を心像せる際の主として心搏数の変動について  
.....鈴木好雄 12  
久場政博・田所正路・星 宏子・千葉勝子・河本節子・白崎隆子  
脳波検査における催眠法の利用 .....針生 亨 17

資 料

急速催眠による暗示療法の研究（1） .....加藤幸子・阿部 正 22  
学会ニュース ..... 26  
学会だより ..... 28  
会員名簿 ..... 29

催眠研究 第10巻 第2号 昭和41年 6月発行

原 著

名尾智等：催眠の精神生理学的研究 ..... 1  
佐藤守男：類似催眠暗示法による車酔い矯正 ..... 6

資 料

栗山一八：持続催眠法の治療効果 ..... 15  
石橋泰子・阿部 正：急速催眠による暗示療法の研究（2） ..... 21  
大会発表抄録 ..... 26

催眠研究 第11巻 第1-2合併号 昭和42年 6月発行

巻 頭 言 ヤスパースの批判（新福尚武） ..... 1

原 著



藤沢 清：ポリグラフィによる催眠の研究（1）	
－催眠夢に関する検討を中心に……………	2
斎藤稔正：催眠感受性に及ぼす動機づけの効果……………	15
名尾智等：催眠の精神生理学的研究	
第2報 後催眠性情動変化による顫光刺激眼瞼振動反応の変化について……………	24

## 臨床報告

伊藤薫二：皮膚疾患に対する（心身医学的立場より）催眠療法の臨床実験……………	29
栗山一八：持続催眠法……………	35

大会発表抄録……………	41
-------------	----

## 催眠研究 第12巻 第1号 昭和43年 7月発行

### 〈巻 頭 言〉

催眠研究の意義についての所感……………	北村晴朗 1
---------------------	--------

### 〈シンポジウム〉

文化と催眠	(1967年国際心身医学催眠学会)	2
日本における催眠の現況……………	前田重治・蔵内宏和	
ヨーロッパ社会主義諸国における催眠の理論的側面について	……………J.Hoskovec, I.Horvai	
	(チェコスロバキア, プラーク)	2
ヨーロッパ社会主義諸国における催眠の利用	……………I.Horvai, J.Hoskovec	
	(チェコスロバキア, プラーク)	3
人間の基本的状態としての睡眠および覚醒から派生した, 高等な, 自然な, きわめて人間的な状態と考えられる催眠……………	E.Power	
	(アルゼンチン, ブエノスアイレス)	5
ブラジルにおける催眠: 前コロンブス時代, 帝制時代および共和国時代について……………	D.Akstein	
	(ブラジル, リオデジャネイロ)	7

### 〈調 査 報 告〉

わが国における催眠の現況……………	前田重治 10
-------------------	---------

## 〈研究論文〉

催眠法による脳卒中後遺症患者のリハビリテーションに関する研究 ……………野口宗雄、柴田道二、安中康子	20
自律訓練法を用いた系統的脱感作療法 ……………高石 昇、保坂正昭、南 諭、金子仁郎	24
持続催眠法による疾病治療の実際とその効果 ……………栗山一八	29
日本催眠医学・心理学会 1967 年度大会研究発表抄録 ……………	33
国際心身医学催眠学会の報告 ……………前田重治	48
日本催眠医学・心理学会会則 ……………	50
ABSTRACTS ……………	52

催眠研究

第 1 2 巻 第 2 号

昭和 4 4 年 2 月発行

## 〈シンポジウム〉

催眠とは何か —その本体と理論—(1967 年度日本催眠医学心理学会大会)	
催眠の生理・身体的側面 ……………石田行仁	1
催眠の認知的側面 ……………針生 亨	4
催眠と動機, 学習 ……………峰松 修	6
催眠とパースナリティ ……………木村 駿	9
討論者 ……………成瀬悟策、花沢成一、高石 昇、長谷川浩一、名尾智等	11

## 〈特別講演〉

えずき癖の治療……Philip Ament 博士 (第 2 回国際心身医学催眠学会)	17
--	----

## 〈研究論文〉

自律訓練法の盲者への適用 ……………長谷川浩一	22
精神分裂病患者に対する集団自律訓練法のこころみ ……………柴田 出、元田克己、桑原道直	26
気管支喘息にたいする催眠療法の効果と限界 ……………草野忠良、吾郷晋浩、本田竜城、栗山一八	33
催眠誘導過程の光誘発電位に及ぼす影響 ……………大沢春吉	38
睡眠状態における治療暗示の臨床的研究 ……………木村 駿、加藤隆吉、土田修録、岡部宏行	43

〈講 座〉

自律訓練と催眠の特色と問題点 ……………河野良和 49

〈書評・文献紹介〉

Handbook of Clinical and Experimental Hypnosis ……………梅本堯夫 42

Review of Recent Research on Hypnotic Learning ……武田美重子 48

Certains Effects de Notre Education Religieuse ……………木村俊作 52

催眠研究 第13巻 第1-2合併号 昭和44年 7月発行

〈巻 頭 言〉

催眠雑感 ……………保崎秀夫 1

〈シンポジウム〉

催眠療法における人間関係 日本催眠医学心理学会第14回大会  
非分析的立場—森田療法・counseling等—より ……………竹山恒寿 2  
精神分析的立場より ……………前田重治 5  
行動療法、条件づけの立場より ……………内山喜久雄 8  
精神生理学的立場より  
……………池見酉次郎・木村政資・田中正敏・前田寛男 14  
子どもの催眠療法における人間関係—抵抗を中心として— ……石橋泰子 19  
討論者 ……………梅本堯夫・黒須一夫・小此木啓吾 21

〈研 究 論 文〉

催眠暗示と逆説催眠 ……………木村 聰、白倉克之、原 俊夫 30  
光誘発反応を中心とした催眠の生理学的研究  
……………木村政資、田中正敏、大野喜暉、前田寛男、草野忠良 35  
分娩に対する自律訓練効果について  
……………後藤哲也、岡村 靖、滝 一郎 42  
催眠法による吃音の言語治療  
—随伴運動が顕著にみられる成人吃音者の一症例— ……………堤 賢 48  
  
日本催眠医学心理学会第14回大会プログラムおよび研究発表抄録 ……………53  
外人編集顧問のプロフィール ……………池見酉次郎 71  
書評 ……………柴田 出 72  
ABSTRACTS …………… 73

〈誌上シンポジウム〉

機械操作による暗示療法	日本催眠医学心理学会第14回大会	
まえがき	木村 駿	1
機械操作による催眠療法—瞑想トレーニング—	土田修録	1
テープレコーダーによる治療暗示の臨床心理学的研究		
—Encopresis を中心として—	木村 駿・岡部宏行	6
テープレコーダーによる自律訓練		
—喘息と不妊症その他の婦人科疾患に対する特殊暗示療法—		
……………阿部 正, 大嶺繁二, 岩淵庄之助		
……………石橋泰子, 喜多川浩, 鈴木邦子		10
テープ, スライドによる歯科治療恐怖の心理的脱感作		
—学習理論による患者行動の再調整—	山下 宰, 鎌倉建二	15
テープレコーダーによる再体験客観視法—心身症患者の治療—		
……………石田行仁		21
無意味音による催眠誘導機およびその臨床経験	大脇範雄	25
まとめ役: 木村 駿		

〈特別講演〉

Oskar Vogt の研究実績と自律訓練療法	W. Luthe (高石 昇訳)	28
-------------------------	------------------	----

〈研究論文〉

MICROVIBRATION からみた AT の効果に関する研究		
……………元田克己, 柴田 出, 稲永和豊		60
Scaring Method を導入し暗示の効果性を高めるための試み		
……………亀倉孝順		64

〈海外論文〉

自律訓練公式における受動的注意集中	W. Luthe (柴田 出訳)	70
器質性疼痛に対する心理学的な統制		
……………A. Meares (山下 宰, 千原美重子訳)		75

〈海外ニュース〉

ラテン系諸国における催眠研究の現状	柴田 出	81
-------------------	------	----

〈書 評〉

河野良和著『改訂・自己催眠術—潜在能力開発法—』……………長谷川浩一 84

事務局だより…………… 87

催眠研究 第15巻 第1号 昭和45年 9月発行

〈巻 頭 言〉 催眠研究と人間性の開発……………恩田 彰 1

〈シンポジウム〉 注意集中の諸問題……………日本催眠医学心理学会第15回大会

注意集中とは何か……………斎藤稔正 3

他者催眠および自己催眠における注意集中……………小川捷之 7

スポーツにおける注意集中……………富田善太郎 18

禅における注意集中……………松本博基 21

注意集中の病理……………柴田 出 25

司会：恩田 彰

〈研 究 論 文〉 記憶範囲 (memory span) に及ぼす催眠暗示の影響

……………千原美重子, 大沢春吉, 梅本堯夫 34

催眠の診断学的応用について……………岩井 寛 42

吃音に対する行動療法 (自律訓練法を併用)

……………上西創造, 池見酉次郎, 菅野久信, 草野忠良, 久保村雅夫 48

〈資 料〉 催眠法による「乗り物酔い」治療の追跡調査について……………栗山一八 56

日本催眠医学心理学会第15回大会研究発表抄録……………59

事務局だより……………72

催眠研究 第15巻 第2号 昭和46年 6月発行

〈巻 頭 言〉……………池見酉次郎 1

〈研 究 論 文〉 機械操作による乗り物酔いの集団暗示療法……………岡部宏行 4

催眠と覚醒の現象学的人間学への予備研究……………村本詔司 10

被暗示性に関する発達的研究 (1)……………力富敬子 22

	高所恐怖治療における行動療法的アプローチ (その2 催眠脱感作法) ……内山喜久雄・林 邦雄・長谷川浩一	32
	てんかんの自律訓練併用精神療法 ……………阿部 正	43
	湿疹患者に対する催眠による counter conditioning の一症例 ……………元田克己	46
	感情身体感覚よりみた自律訓練に おける受身的集中 ……………阿部 正	43
〈講 座〉	自律訓練法 ……………河野良和	52
〈書 評〉	Joseph Wolpe; “The Practice of Behavior Therapy” Pergamon Press, 1969 ……………茨木俊夫	62

催眠学研究 第16巻 第1号 昭和46年 9月発行

〈巻 頭 言〉	……………潮田武彦	1
〈シンポジウム〉	催眠法および自律訓練法によるリハビリテーション	
	催眠法による脳性マヒ者のリハビリテーションについて…小林 茂	3
	Body Image を利用した脳卒中後遺症患者の催眠療法について ……………名尾智等	7
	スピーチリハビリテーションへの催眠法および自律訓練法の適用 ……………堤 賢	15
	内科的疾患(心身症)のリハビリテーションへの自律訓練法の応用 ……………佐々木雄二	24
	シンポジウム質疑応答 ……………司会: 倉石精一	29
〈研 究 論 文〉	催眠暗示による症状の誘発とおきかえについて ……………中川俊二・杉田峰康	30
	筋ジストロフィーの自律行動・催眠療法 ……………阿部 正	35
	特定の色に恐怖をもった画家の催眠療法例 ……………鈴木謙次	39
〈資 料〉	神経症・心身症に対する暗示療法の現況 ……………前田重治	43
〈特 別 寄 稿〉	“Prof. Dr. med., Dr. h. c. Johannes Heinrich Schultz, 1884-1970” ……………Dr. W. Luthe, M. D. 柴田 出訳	47

〈文献紹介〉	TEORIE DER HYPNOSE (『催眠の理論』) JIŘÍ HOSKOVEC 著	
	.....	柴田 出訳 50
	Interdisciplinary sleep research.....	高石 昇訳 53
〈事務局だより〉	.....	54

**催眠学研究 第16巻 第2号 昭和47年 7月発行**

〈巻頭言〉	.....	池見酉次郎 1
〈論文紹介〉	From Hypnosis to Sophrology—Eleven years of teaching— .....	Issac Gubel, M. D. 柴田 出訳 3
〈研究論文〉	自律訓練法の系統的脱感作法への適用 .....	赤木 稔・末広晃二・増田恵子 9
	スポーツ・マンの心理的トレーニングに応用した 自律訓練法の効果に関する研究.....	富田善太郎 15
	カガミうつりから見た催眠の本質への研究.....	村本詔司 22
	催眠および自律訓練による偽近視の矯正.....	福田茂勝 28
	ジアゼパムに対するAT後のMV反応の変化について .....	元田克己・柴田 出・稲永和豊 32
〈日本催眠医学心理学会第16回大会発表抄録および研究討議〉		
	I 自律訓練法部門.....	37
	II 臨床心理学部門.....	41
	III 臨床医学部門.....	45
	IV 基礎部門.....	48
〈新刊紹介〉	『現代人の病理』について.....	相場 均 52
〈書評〉	木村 駿 著『暗示と催眠の世界』.....	元田克己 53
	Bruce. P. Dohrenwend & Barbara. S. Dohrenwend 著/ 相場 均 訳『精神障害の社会心理学』.....	柴田 出 54
〈事務局だより〉	.....	56

〈巻頭言〉	……………	竹山恒寿	1
〈講演再録〉	Use of hypnosis in the control of organic pain and functional symptom control ……………	H. B. Crasilneck, Ph. D. 高石 昇訳	2
〈研究論文〉	催眠法による記憶の再生について……………	阪口起造	7
	催眠中の P-F スタディ……………	花沢成一	13
	催眠-森田療法の研究……………	岩井 寛・天本 宏・丸山 晋	18
	歯科におけるペインコントロール……………	近藤三千雄・宮本辰雄	24
	イメージ面接（催眠分析）……………	栗山一八	26
〈第17回大会シンポジウム〉			
第1日目=ペインコントロール……………	司会	村山良介	33
痛みの心理学的統制-臨床医家の為の12のルート- ……………	山下 宰・木村正二・斎藤稔正		34
歯科治療時における催眠暗示の和痛効果について……………	菊竹昌義, 他		39
開腹術後愁訴患者の腹痛 ……………	高山武彦・中川哲也・木村政資・河野友信・長門 宏・中村興叡		42
分娩における Pain control-特に自律訓練効果について-……………	岡村 靖		49
ペインコントロールにおける無痛処置について……………	村山良介		52
追加発表			
歯の無痛処置について……………	近藤三千雄・宮本辰雄		55
バセドウ氏病を伴った開腹術後愁訴患者の催眠治療の1例……………	渡辺太郎		56
第2日目=催眠の本態……………	司会	稲永和豊	59
学習理論の立場から……………	内山喜久雄		60
催眠の精神生理-原稿未着-	秋本辰雄		
催眠と睡眠, とくに REM 睡眠について……………	大熊輝雄		63
脳波からみた催眠現象……………	藤沢 清		68
指定討論: 催眠の本態……………	大野喜暉		75
〈日本催眠医学心理学会第17回大会発表抄録および研究討議〉			
I 第1日目……………			78



II 第2日目	81
---------	----

〈書評〉 柴田 出 著『催眠法入門』	木村 駿	94
内山喜久雄 著『行動療法』	柴田 出	95
祐宗省三・春木 豊・小林重雄編著『行動療法入門』	高石 昇	96

**催眠学研究 第18巻 第1号 昭和48年11月発行**

〈巻頭言〉	内田安信	1
-------	------	---

〈研究論文〉 自律訓練法による色彩心像の研究	長谷川浩一・清水幹夫	3
------------------------	------------	---

〈日本催眠医学心理学会第18回大会発表抄録および研究討議〉

I 第1日目	10
II 第2日目	16

〈第18回大会シンポジウム抄録〉

1) リラクゼーションと催眠誘導	渡辺俊男	24
2) 催眠の立場よりみた Relaxation	栗山一八	24
3) 自律訓練法からみた Relaxation	河野良和	25
4) 暗示実現に及ぼす注意集中過程の比較研究 ー心理生理的反応を指標としてー	原野広太郎	25
5) 精神分析の立場から	鈴木謙次	26
6) 行動療法における Relaxation	長谷川浩一	26
7) 坐禅とリラクゼーション	佐々木雄二	27
8) ヨーガ行法における Relaxation の問題	佐保田鶴治	27
シンポジウム特別発言 1	阿部 正	28
シンポジウム特別発言 2 治療的要因としての Relaxation	平井富雄	28

〈書評〉 J. ヘイリー／高石 昇訳『心理療法の秘訣』	木村 駿	30
-----------------------------	------	----

〈事務局だより〉		31
----------	--	----

**催眠学研究 第18巻 第2号 昭和49年8月発行**

〈巻頭言〉	前田重治	1
-------	------	---

〈論文紹介〉 自律性フィードバック訓練 (AFT) — .....	Luthe, W. 内山喜久雄・氏森英亜訳	3
〈研究論文〉 催眠療法による口臭神経症の治療—症例報告— .....	石井靖彦・鈴木国夫・西田紘一	16
変性意識状態質問紙作成の試み (1) .....	斎藤稔正	21
〈第19回大会シンポジウム抄録〉		
第1日目	歯科におけるペインコントロール	
1) 疼痛に対する行動療法および針麻酔的アプローチ .....	近藤三千雄・宮本辰雄・梅本 孝	27
2) 歯科におけるペインコントロールについて .....	都 温彦	27
3) 口腔領域にみられる痛みの分析と対策 .....	成田令博	29
4) 歯科におけるペインコントロール .....	黒須一夫	30
第2日目	教育における催眠	
1) 教育と催眠 .....	内山喜久雄	32
2) 教育における催眠 .....	梅本堯夫	33
3) 教育と催眠 .....	河合隼雄	34
4) 教育と催眠 .....	木村 駿	34
5) 教育における催眠 .....	高木俊一郎	35
〈文献紹介〉 Electros sono (Electrosleep による治療について) A. C. de Moraes Passos, M. D. 著 .....	柴田 出訳	37
〈事務局だより〉 .....		39

**催眠学研究 第19巻 第1号 昭和50年 1月発行**

〈巻頭言〉 .....	倉石精一	1
〈研究論文〉 催眠感受性の研究 .. 大海作夫・山田修平・橋本栄修・夏目 誠・和多田裕・中野志隆		3
統合的治療過程における自律訓練法の位置 —気管支喘息の一治験例からの考察— .....	佐々木雄二	11
自律訓練法を併用した吃音児のスピーチセラピー .....	堤 賢	17
〈論文紹介〉 自律行動療法 (1965-1972) .....	W. ルーテ内山喜久雄訳	23

〈資料〉 自律訓練法イメージの鮮明性と統御可能性に関する一実験（予備的検討）  
.....吉沢幸夫・長谷川浩一 30

〈書評〉 スロボジャニク／小林 茂訳『ソビエト心理療法』 .....高石 昇 33

催眠学研究 第19巻 第2号 昭和50年 7月発行

〈追悼文〉 .....成瀬悟策 1

〈研究論文〉 変性意識状態質問紙作成の試み（2）  
一催眠感受性による妥当性の検討一 .....斎藤稔正 3  
感覚強調（化）法 .....栗山一八 9  
覚醒水準と暗示の定着に関する基礎的研究  
.....江川ビン成・原野広太郎 14  
集団式催眠感受性検査作成の試み .....花沢成一 21  
催眠後遺症一催眠術あそびの重篤例一 .....高石 昇 27  
産科領域における精神身体医学的研究と催眠の応用に関する研究  
郷久鉞二・橋本正淑・蠣崎和彦・岡和田俊一 32

〈資料〉 自律訓練法・標準練習段階における心理・生理的反応の現象学的考察  
.....清水幹夫・長谷川浩一 39

〈事務局だより〉 ..... 43

催眠学研究 第20巻 第1号 昭和50年 12月発行

〈研究論文〉 催眠幻覚出現時の眼球運動について .....針生 亨 1  
自己臭体験患者の系統的脱感作療法 .....大海作夫・夏目 誠  
山田修平・圓山一俊・中野光造・中野志隆・水原哲生 ..... 6  
顎関節症の精神身体医学的研究一CMI健康調査表による検討  
.....関口武三郎 13  
自律療法による治療事例 .....木村俊作 18

〈第20回大会シンポジウム抄録〉

オーガナイザー・司会者 .....成瀬悟策 23  
1) Task Motivation .....江頭幸春 24  
2) Biofeedback の立場から .....藤田継道 26

3) 分離説の立場から	高橋良幸	29
4) トランスの立場から	斎藤稔正	30
質疑応答		
指定討論(1)	長谷川浩一	32
(2)	戸田 晋	32
〈事務局だより〉		35

**催眠学研究 第20巻 第2号 昭和51年 8月発行**

〈研究論文〉	コックリさん遊びの精神医学的考察	
	……………中島節夫・山角 駿・住吉秋次	1
	イメージ体験に関する研究 (第1報)	
	—催眠イメージと自律訓練法イメージ……………長谷川浩一・小山 望	8
	自律性中和法	
	……………松原秀樹・新里里春・大野喜暉・武谷 力・松本建一	15
	覚醒・催眠時の脳波スペクトル像と意識内容との比較研究	
	……………天羽大平	20
	心身症に対する催眠—森田療法	
	……………天本 宏・青葉安里・尹 美淑・岩井 寛・衛藤 純	25
	各種の変性意識状態の比較……………斎藤稔正	30

**〈第21回大会シンポジウム抄録〉**

オーガナイザー……………高橋良幸	
司会者……………林 茂男	35
1) 臨床的な立場から……………藤原勝紀	36
2) 直観像について……………畠山孝男	37
3) イメージは客観的な分析手段になりうるか……………丸野俊一	38
指定討論(1)……………堀 浩	40
(2)……………長谷川浩一	40
(3)……………針生 亨	41
〈資料〉催眠感受性に関する一研究……………長谷川浩一・山川澄代	42
〈事務局だより〉……………	45

〈原 著〉	ATによるイメージの脱感作療法 —その技法と心理力動的な考察— ……………柴田 出・坂上佑子	1
	自律性除反応による治療についての一考察 ……………新里里春・大野喜暉・松原秀樹	9
	象徴的減感作による治験例……………栗山一八	15
	第22回大会シンポジウム抄録 各科領域における催眠技法の展開 自律訓練法から自律療法への展望……………松原秀樹	22
	神経質治療における催眠療法の役割……………天本 宏・岩井 寛	25
	深化法を伴った非言語性催眠技法……………大脇範雄	29
	不妊症における医療催眠の効果について……………近藤俊明	30
	歯科医療の場における催眠技法の展開……………鎌倉建二	33
	或る認知論の立場から……………河野良和	35
〈資 料〉	催眠法による偏食矯正の追跡調査……………岡部宏行	38
〈書 評〉	池見酉次郎監修著・佐々木雄二・松原秀樹著「自律訓練法と心身症」 ……………前田重治	42
	事務局だより……………	44

〈原 著〉	脳波異常をもつ転換ヒステリーに対する催眠による発作の鑑別診断 ……………宿谷幸次郎・岩井 寛・長谷川和夫	1
	自律療法における臨床像—psychomythologyの立場から— ……………木村俊作	7
	ある心身症に対するイメージ面接治療の一例 —持続催眠法による夢誘導の利用—……………栗山一八	14
〈症 例 報 告〉	Delayed Visual Feedbackによる書痙の一治験例……………茨木俊夫	22
〈大 会 目 録〉	日本催眠医学心理学会第19回大会発表演題……………	30
	日本催眠医学心理学会第20回大会発表演題……………	32
	日本催眠医学心理学会第21回大会発表演題……………	34

日本催眠医学心理学会第22回大会発表演題 ..... 36

- 〈書 評〉アーネスト・R・ヒルガード著・成瀬悟策監修・斎藤稔正訳「催眠感受性」  
.....江川ビン成 38  
佐々木雄二著「自律訓練法の実際」 .....河野良和 40

**催眠学研究 第22巻 第1号 昭和52年10月発行**

- 〈特別講演〉ASC法の長所と短所 .....池見酉次郎 1  
〈原著〉ATによるイメージ療法を応用した神経症の一例  
.....柴田 出・坂上佑子 7  
痙性斜頸に対するATとEMG  
ーバイオフィードバック療法との併用について  
.....大海作夫・夏目 誠・水原哲生・圓山一俊 14  
年齢退行のポリグラフ的研究  
.....中島節夫・山角 駿・住吉秋次・望月保則 20  
〈書 評〉T. X. バーバ著・成瀬悟策監修・戸田 晋訳「催眠」 ..高橋良幸 33

**催眠学研究 第22巻 第2号 昭和53年7月発行**

- 〈原著〉年齢退行の心理・生理学的研究  
.....佐々木俊樹・中島節夫・菅原道哉・住吉秋次・山角 駿 1  
入眠期における指尖部容積脈波反応の研究  
ー音刺激に対するhabituationと覚醒水準との関係についてー  
.....森住宜司・原野広太郎・江川ビン成 10  
いわゆる自律神経失調症に対するイメージ療法の症例  
.....坂上佑子・柴田 出 18

**〈第23回大会シンポジウム抄録〉**

- トランスとは何か ..... 28  
司会 ..... 恩田 彰 28  
宗教におけるトランス ..... 加賀山信道 29  
精神分析におけるトランス ..... 前田重治 35  
催眠におけるトランス ..... 高橋良幸 42  
指定討論 ..... 長谷川浩一 46

原野広太郎 47

〈資料〉	変性意識状態の因子分析的研究……………斎藤稔正	51
〈書評〉	栗山一八・藤原勝紀編「催眠療法」……………鎮目光雄	54
	成瀬悟策編「教育催眠学」……………木村 駿	56

催眠学研究 第23巻 第1-2合併号 昭和54年 9月発行

〈原著〉	Hypnosis with Specific Relation to Biofeedback and Behavior Therapy : Theoretical and Clinical Consideration バイオフィードバックおよび行動療法を併用した催眠法：理論的・臨床的考察……………Milton V. Kline (金沢良三 訳)	1
	イメージ療法におけるイメージの現われ方とその意味について —その心理力動的考察—……………坂上佑子・柴田 出	11
	イメージ療法における情動強調法……………門前 進	20
	Self Monitoring Relaxation に関する基礎的研究 ……………長谷川浩一・松本清子	27

〈日本催眠医学心理学会第24回大会シンポジウム抄録〉

催眠の生理・心理

オーガナイザー・司会者……………原野広太郎	35
-----------------------	----

話題提供者

催眠と脳波……………天羽大平	36
----------------	----

催眠下の自律反応……………河野良和	40
-------------------	----

暗示下の誘発電位……………大沢春吉	42
-------------------	----

催眠感受性および催眠の精神生理学的研究

—催眠感受性を中心として—……………大海作夫・夏目 誠 南野寿重・水原哲夫・圓山一俊・山田修平・中野志隆……………	44
--	----

年齢退行のポリグラフおよびロールシャッハ ……………中島節夫・住吉秋次・山角 駿・佐々木俊樹	52
---	----

〈大会目録〉	日本催眠医学心理学会第23回大会発表演題……………	58
--------	---------------------------	----

	日本催眠医学心理学会第24回大会発表演題……………	59
--	---------------------------	----

〈書評〉	ルーテ, W. 著 池見酉次郎監修 前田重治・秋本辰雄・秋山俊夫共訳	
------	------------------------------------	--

『自律性中和と治療』	……………松原秀樹	60
河野良和著『感情のコントロール』	……………林 茂男	62

〈学 会 報〉	……………	64
---------	-------	----

**催眠学研究 第24巻 第1号 昭和55年 3月発行**

〈原 著〉 催眠によって改善された全生活史健忘の2例		
……………鈴木泰代・山角 駿・住吉秋次・中島節夫		1
神経筋肉系心身症の催眠—行動療法		
…夏目 誠・大海作夫・藤井久和・水原哲生・圓山一俊・中野志隆		6
三角形イメージ体験法におけるイメージ共感現象	……………藤原勝紀	13

〈日本催眠医学心理学会第25回大会シンポジウム抄録〉

催眠の科学的アプローチ		
—最近の基礎および応用的研究の動向—		
オーガナイザー・司会者	……………藤沢 清	20
シンポジスト		
心理学における実験研究の立場から	……………成瀬悟策	21
生理心理学的研究の立場から	……………山岡 淳	24
臨床心理および行動科学の立場から	……………高橋良幸	27
臨床医学の立場から	……………柴田 出	29
指定討論者	……………林 茂男・斎藤稔正	32

〈資 料〉 催眠に対する意識調査—発達心理学的観点から—		
……………小山 望・長谷川浩一		35

〈大 会 目 録〉 日本催眠医学心理学会第25回大会発表演題	……………	38
--------------------------------	-------	----

〈学 会 報〉	……………	39
---------	-------	----

**催眠学研究 第24巻 第2号 昭和55年 10月発行**

〈原 著〉 後催眠健忘の抑圧説についての検討	……………吉村順子	1
情報過程分析からみたシュヴルール振子暗示反応	……………田中新正	8

〈症 例 報 告〉		
-----------	--	--



	脳性マヒ者の手指動作訓練における催眠の効用の検討……鶴 光代	15
	Self Monitoring Relaxation のあがり対策への適用…金沢良三	20
〈論 評〉	内科治療における催眠療法 ……………栗山一八	24
〈書 評〉	長田一臣著『人間は変わりうるか—催眠法を用いた実験—』 ……………長谷川浩一	28
〈学 会 報〉	……………	31

催眠学研究 第25巻 第1号 昭和56年 7月発行

〈特 集〉	ミルトン H. エリクソン博士記念 Tribute to Dr. Erickson ……………Gosaku Naruse	1
	エリクソン国際会議について……………成瀬悟策	2
	Milton H. Erickson の研究業績と生活史的背景……………高石 昇	5
	M. H. Erickson 博士の治療的態度・理論について……………柴田 出	13
	米国の催眠諸学会見聞記……………野村勝彦	19

〈日本催眠医学心理学会第26回大会シンポジウム抄録〉

催眠はどのように使われているか

企画・司会者……………中村昭之・佐々木雄二	22
話題提供者	
子どもに対する催眠の具体的効用……………元田克己	23
パラ催眠……………河野良和	25
催眠はどのように利用されているか……………栗山一八	27
歯科・口腔外科領域に於ける催眠の有用性……………石井靖彦	28
暗示の効果と意識水準……………原野広太郎	30
まとめ……………恩田 彰	31

〈大 会 目 録〉	日本催眠医学心理学会第26回大会発表演題……………	34
-----------	---------------------------	----

〈書 評〉	成瀬悟策 編著『心理療法におけるイメージ』……………佐々木雄二	35
-------	---------------------------------	----

〈学 会 報〉	……………	38
---------	-------	----

〈原 著〉	皮膚温コントロールの研究 大海作夫・田中則夫・夏目 誠・藤井久和・水原哲生・圓山一俊	1
	積極的弛緩法—Jacobson の漸進的弛緩法の臨床応用への提言— ……………松原秀樹	7
	気管支造影等の医療検査における患者への心理的アプローチに関する 研究……………長谷川正浩	13
	イメージ療法に伴う生理心理学的研究（第1報） …楠本恭久・山岡 淳・櫻田 修・中村昭之・梅田敏文・柴田 出	21
〈症 例 報 告〉		
	持続催眠による失声症の一治験例……………元田克己・賀村正喜	27
	イメージ療法における対人緊張改善のためのイメージ課題について ……………鶴 光代	32
〈資 料〉	自己コントロール法の集団訓練に関する研究……………深野佳和	35
〈書 評〉	前田重治著『心理臨床—精神科臨床と心理臨床家—』 ……………松原秀樹	38
	成瀬悟策編『イメージ療法』……………恩田 彰	40
〈学 会 報〉		42

〈原 著〉	類催眠経験と人格に関する数量的検討……………長谷川浩一・飯塚伸一	1
〈日本催眠医学心理学会第27回大会シンポジウム抄録〉		
	催眠を中心としたイメージ技法の諸問題 企画・司会者……………成瀬悟策	
	話題提供者	
	行動療法とイメージ……………松原秀樹	8
	教科学習とイメージ……………辰野弘宣	12
	「三角形イメージ体験法」からみたイメージをめぐる諸問題 ……………藤原勝紀	15
	催眠分析とイメージ……………増井武士	17
	指定討論者……………門前 進・柴田 出	19

〈症 例 報 告〉	「えずき」の症例の自律訓練法	新屋嘉彦	19
〈資 料〉	自己コントロール法の集団訓練に関する研究（２）		
	一動作訓練法適用の試み一	深野佳和	25
	自律訓練法心像の心理生理的検討	小黒淳子	28
〈論 評〉	外国における司法催眠の現状と問題点	森 武夫	32
〈大 会 目 録〉	日本催眠医学心理学会第 27 回大会発表演題		37
〈書 評〉	ギブスン著・林 茂男訳『催眠の科学と神話』	斎藤稔正	38
〈学 会 報〉			40

催眠学研究 第 27 卷 第 1 - 2 合併号 昭和 58 年 7 月発行

〈巻 頭 言〉	催眠研究の現状と将来	成瀬悟策	1
〈原 著〉	シュヴルール振子暗示反応の情報処理分析（Ⅱ）	田中新正	4
	催眠下感情暗示を用いた状態依存検索の検討	巖島行雄・花沢成一	11
	イメージ療法の操作刺激による患者の心身の反応の意味について		
	……………	大山みち子・川口典子	18
	妄想体験を伴った患者のイメージ療法		
	一妄想の変遷と治療過程について一	梅田敏文・森川泰寛	23
〈症 例 報 告〉	イメージによる皮膚疾患の治療例	元田克己	31
	催眠法の利用によりスランプ状態から離脱できた打撃不振の一治療例		
	……………	桂 戴作・丸山公一	35
〈資 料〉	生涯教育における自律訓練法の適用とその効果について		
	……………	大海作夫・田中則夫・頼藤和寛	39
	慢性腎不全の人工透析に対する催眠療法の試み	鶴 光代	46
	三角形イメージ体験法における治療的意味付与		
	一イメージ態度をめぐる現象を中心に一	藤原勝紀	50

〈論 評〉	スタンフォード標準催眠感受性尺度の妥当性 …………… 斎藤稔正	56
	イメージ能力の個人差について …………… 畠山孝男	59
	イメージ療法の研究視点 …………… 藤原勝紀	63
	歯科における催眠の応用 …………… 桂 戴作・丸山公一	65
〈講 座〉	催眠誘導法の理論と実際 …………… 林 茂男	67
	催眠の臨床的応用 …………… 栗山一八	70
〈大 会 目 録〉	日本催眠医学心理学会第 28 回大会発表演題 ……………	74
〈学 会 報〉	……………	75

**催眠学研究 第 28 卷 第 1 号 昭和 59 年 3 月発行**

〈巻 頭 言〉	最近の催眠研究に寄せて …………… 成瀬悟策	1
〈原 著〉	催眠無痛と催眠幻覚の関係について …………… 長谷川浩・斎藤稔正	4
	覚醒・催眠イメージにおける自発性まばたき …… 田多英興・針生 亨	10
〈症 例 報 告〉	催眠面接と麻酔面接—心因性健忘の 2 症例の経験から— …………… 中島節夫・堤 邦彦・山田正夫	16
〈論 評〉	シュヴルール振子暗示反応の情報処理分析 …………… 田中新正	21
	対人緊張・恐怖改善のためのイメージ課題について …………… 鶴 光代	25
〈大 会 目 録〉	日本催眠医学心理学会第 29 回大会発表演題 ……………	30
〈学 会 報〉	……………	31

**催眠学研究 第 28 卷 第 2 号 昭和 59 年 10 月発行**

〈原 著〉	催眠中の主観的体験に関する研究 —他者催眠と自己催眠の比較— …………… 吉成 淳・長谷川浩一	1
〈症 例 報 告〉	電話を利用したイメージ分析療法 …………… 梅田敏文・柴田 出	10
	イメージ分析療法における治療者—患者関係	

	.....川口典子・大山みち子・柴田 出	14
〈資料〉	催眠誘導による嫌悪感情の強さが社会的判断に及ぼす効果 .....土田昭司・花沢成一	18
〈論評〉	催眠深度の指標としての瞬目反応の利用可能性について・田多英興 イメージ分析療法におけるイメージに伴う問題 .....梅田敏文	22 25
	催眠と東洋医学 ー第29回大会ラウンド・テーブル・ディスカッションからー .....山下 幸	29
〈講座〉	催眠誘導法の理論と実際 .....高橋良幸	33
〈学会報〉	.....	37

**催眠学研究 第29巻 第1-2合併号 昭和60年 9月発行**

〈特別論文〉	催眠の今日的意義 .....中島節夫	1
〈原著〉	Image Communication に関する実験的研究 .....藤原勝紀	13
〈症例報告〉	自律訓練法, 他者催眠法, 拮抗制止法を併用した強迫行為の治療例 .....生月 誠	25
	イメージ分析療法における患者の自立をめぐるイメージとその意味 .....梅田敏文・笠井 仁	29
	治療過程における自己洞察ーイメージ分析療法におけるー .....大山みち子	36
〈事例報告〉	ATメンタルイメージによる中学生の卓球指導 .....音在義則	43
〈日本催眠医学心理学会第30回大会シンポジウム〉		
	催眠におけるリラクゼーション 企画・司会者.....大野清志・西田紘一	48
	話題提供者 精神生理学の立場から .....大海作夫	49

	行動療法の立場から	赤木 稔	55
	自律訓練法の立場から	佐々木雄二	58
〈論 評〉	「これからの催眠の応用」－医学の分野において－	前田重治・桂 戴作・柴田 出	62
	「これからの催眠の応用」－歯科医学の分野において－	黒須一夫	70
	「これからの催眠の応用」－教育の分野において－	鶴 光代	74
〈書 評〉	ゼイク, J. K. 編 ミルトン・エリクソンの心理療法セミナー	鈴木謙次	79
	水島恵一・他 編著イメージ心理学		
	1. イメージの基礎心理学	藤原勝紀	80
	2. イメージの臨床心理学	丸野俊一	83
〈大会目録〉	日本催眠医学心理学会第30回大会発表演題		86
〈学会報〉			87

**催眠学研究 第30巻, 第31巻 合併号 昭和62年 3月発行**

〈原 著〉	イメージ分析療法における患者の抵抗の現れ方とその治療操作	笠井 仁・森山敏文	1
	催眠法を併用した行動療法の治療効果と心理的外傷体験の意識化が及ぼす影響	生月 誠・原野広太郎	9
	半睡眠暗示法の治療効果に及ぼす要因についての検討	原野広太郎・生月 誠	15
	イメージ分析療法におけるひとつの技法の試み－SUR を応用したイメージ導入	高橋慶治・森山敏文	20
	暗示反応の不随意性と客観的反応に及ぼすイメージの効果	須永範明・花沢成一	27
	心像活動の因子分析的研究－心像諸測度を用いて－	長谷川浩一	33
〈症 例 報 告〉	医原性疾患と思われる「ヤセ症」の治験例	元田克己	40

〈資料〉	運動動作学習のメンタル・リハーサルにおける観察自己イメージと経験自己イメージ……………岩田 泉・長谷川浩一	45
〈提言〉	催眠研究の活性化にむけて(1)―基礎・臨床研究の立場から鈴木謙次	49
	催眠研究の活性化にむけて(2)―基礎・臨床研究の立場から花沢成一	51
	催眠研究の活性化にむけて(3)―資格問題の立場から……………黒須一夫	53
	催眠研究の活性化にむけて(4)―資格問題の立場から……………原野広太郎	57
〈講座〉	歯科治療不安恐怖症患者の自律訓練法及び催眠の応用について……………近藤三千雄	59
〈大会目録〉	日本催眠医学心理学会第31回・第32回大会発表演題……………	62
〈学会報〉	……………	64

催眠学研究 第32巻 第1号 昭和62年12月発行

〈特別論文〉	ソ連および東欧諸国における催眠研究の現況……………J. ホスコヴェック (柴田 出訳)	1
〈原著〉	イメージ分析療法における治療過程評価の試み―G. A. KellyによるRating Grid法を用いて―……………篠竹利和	6
	後催眠暗示による行動および認知の変容のメカニズムについての基礎的研究……………生月 誠・原野広太郎	17
〈症例報告〉	続きもの自己催眠イメージにおける指導者の役割―指導者が同じ内容を繰り返し述べることの意味について―……………門前 進	22
	エリクソン派催眠療法における無意識の知恵とストラテジー……………宮田敬一	28
〈書評〉	ロバート・ダートン著 パリのメスマー―大革命と動物磁気催眠術―……………斎藤稔正	33
〈大会目録〉	日本催眠医学心理学会第33回大会・第1回アジア国際催眠学会議発表演題……………	

.....	36
〈学 会 報〉 .....	38
〈日本学術会議だより〉 .....	42

**催眠学研究 第32巻 第2号 昭和63年 6月発行**

〈特 別 論 文〉 他者暗示・自律暗示及び自己暗示 .....	原野広太郎	1
〈原 著〉 ヨーガ瞑想のEEG特性 .....	山崎 正・三橋美典・山田富美雄	4
〈事 例 報 告〉 心因性弱視児に対する持続催眠療法の治験例 .....	元田克己	14
脳性マヒ者の動作訓練における催眠の適用 .....	昇地勝人	22
自己臭を訴える女子高校生との自己コントロール法による面接経過 .....	窪田文子	27
〈論 評〉 わが国における催眠研究の最近の動向 .....	長谷川浩一	34
催眠誘導過程における治療要因について .....	鶴 光代	36
〈書 評〉 壺イメージ療法—その生い立ちと事例研究— .....	河野良和	38
〈学 会 報〉 .....		41
〈日本学術会議だより〉 .....		44

**催眠学研究 第33巻 第1号 平成元年 3月発行**

〈特 別 論 文〉 Oriental ASC approaches in psychosomatic therapies .....	Yujiro Ikemi (池見酉次郎)	1
〈原 著〉 TM (Transcendental Meditation) の不安低減効果の検討 .....	坂入洋右	8
〈症 例 報 告〉 催眠と家族画 .....	柴田 出	15
〈日本催眠医学心理学会第34回大会シンポジウム〉		



	『催眠と心理療法』	
	催眠と精神分析療法	門前 進 22
	催眠と自律訓練法	中島節夫 25
	催眠とイメージ療法	笠井 仁 30
	催眠と行動療法	古賀愛人 35
	展望と課題	高石 昇 40
〈書 評〉	井上円了著・恩田 彰校閲解説「新校心理療法」	高石 昇 43
〈大 会 目 録〉	日本催眠医学心理学会第34回大会発表演題	45
〈学 会 報〉		47

**催眠学研究 第33巻 第2号 平成元年 8月発行**

〈原 著〉	観念運動応答法による心理面接の治療機序に関する研究	
	……………生月 誠・原野広太郎	1
	自律訓練法に関する生理心理学的研究	
	—SPLの変化を中心として—	
	……………長田一臣・楠本恭久・斉藤 朗・谷嶋喜代志・櫻田 修	7
〈日本催眠医学心理学会第34回大会シンポジウム〉		
	『催眠と変性意識状態』—解脱の境地をめぐって—	
	司会のことば	大海作夫 15
	仏教的自我について—変性意識の意味をめぐって—	小滝 透 16
	他力の仏教（浄土門）における自己改革	奈倉道隆 19
	宗教的治療とトランス	波平恵美子 21
	社会的催眠と解催眠	頼藤和寛 24
	催眠における自己変革	栗山一八 26
	まとめ	大海作夫 28
〈書 評〉	高石 昇著・「これからの心のクリニックの選び方」	森山敏文 32
	大多和二郎著・「感情モニタリング入門編」・河野良和著「感情モニタリング実際編」	田嶋誠一 33

〈学 会 報〉 .....35

**催眠学研究 第34巻 第1号 平成2年 3月発行**

〈特 別 寄 稿〉 心理療法の常識—患者・家族・治療者 ..... 下坂幸三 1

〈原 著〉 不安神経症の発症機制と自律訓練法の有効性について  
.....圓山一俊・西 ゆか 9  
覚醒・催眠条件下の看視作業における瞬目・心拍・脳波の変化  
..... 田多英興・針生 亨 15

〈日本催眠医学心理学会第35回大会シンポジウム〉

ミルトン H. エリクソンと催眠療法  
司会のことば .....野村勝彦 22  
エリクソンのフューチャ・オリエンテーション .....宮田敬一 23  
エリクソンから何を如何に学ぶか .....高石 昇 28  
Milton Erickson の家族療法への貢献 .....鈴木浩二 31  
まとめ .....鶴 光代 36

〈書 評〉 延島信也編著・「サラリーマン・アパシー」 .....恩田 彰 38

〈大 会 目 録〉 日本催眠医学心理学会第35回大会発表演題 ..... 41

〈学 会 報〉 ..... 43

**催眠学研究 第34巻 第2号 平成2年 8月発行**

〈原 著〉 「純粹トランス」と「色づけられたトランス」の生理学的検討  
—サーモ・グラフィーによる末梢皮膚温を指標として—  
.....白川教人・中島節夫 1  
心像特性測度尺度の比較—SMI-S・VVIQ・TVIC について—  
.....長谷川浩一 9

〈資 料〉 弛緩訓練による自己像の変容過程 .....今野義孝・大野清志・星野公夫 17

〈シンポジウム〉

催眠療法とは何かー私の催眠療法ー	
司会のことば	花沢成一・佐々木雄二 20
話題提案	中島節夫 21
	松原秀樹 25
	藤原勝紀 27
指定討論	元田克己 29
	斎藤稔正 31
まとめ	花沢成一・佐々木雄二 32

〈学 会 報〉	34
---------	----

**催眠学研究 第35巻 第1-2合併号 平成3年 3月発行**

〈特 別 寄 稿〉 禅の立場からみた心の世界	中祖一誠 1
------------------------	--------

〈原 著〉 催眠状態での閾下暗示の効果ー和痛による検討ー	斎藤稔正 5
自己催眠イメージ療法に関する研究	
ーその状況の流れに関する分析ー	門前 進 12

〈事 例 報 告〉 動作法と自律訓練による心因性投球動作失調の治療例	今野義孝 22
スポーツ選手におけるメンタル・トレーニングの効果	江川ビン成 28

〈病 例 報 告〉 口腔習癖を有する小児への催眠療法の応用症例	
	尾崎正雄・尾崎安彦・本川 渉 34

〈シンポジウム〉

催眠臨床における総合的アプローチ	
司会のことば	林 茂男 38
教育臨床の立場から	高橋良幸 39
心理臨床の立場から	田嶋誠一 41
臨床医学の立場から	高石 昇 45
医科臨床の立場から	中島節夫 48
歯科臨床の立場から	山下 宰 52
まとめ	林 茂男 54

〈書 評〉 フランシス、クラークン、ペリー著 高石昇監訳	
------------------------------	--

精神科鑑別治療学—理論と実際—	柴田 出	56
〈大会目録〉 日本催眠医学心理学会第36回大会発表演題		60
〈学会報〉		61

**催眠学研究 第36巻 第1号 平成4年 3月発行**

〈特別寄稿〉 航空宇宙環境における特異心理状態について	黒田 勲	1
〈原著〉 不随意性経験と行動上の反応に及ぼす暗示と教示の効果 —暗示の二重要求仮説の検討—	須永範明	5
鼻呼吸の変化と主観的意識状態の関連性	福原浩之	16
〈資料〉 運動暗示反応特性と性格特性との関連性についての研究	生月 誠・原野広太郎	22
〈症例報告〉 患者の自主性による自由持続催眠療法の治験二例	元田克己	27
〈シンポジウム〉 催眠と健康—催眠による主体性の回復— 司会のことば・まとめ	鶴 光代	32
催眠によるセルフコントロール	田中新正	32
イメージによるセルフコントロール	笠井 仁	35
自律訓練法によるセルフコントロール	佐々木雄二	38
禪的瞑想によるセルフコントロール	中村昭之	40
〈大会目録〉 日本催眠医学心理学会第37回大会発表演題		45
〈学会報〉		47

**催眠学研究 第36巻 第2号 平成4年 3月発行**

〈特別寄稿〉 心理活性言語習得法	Zivny, P. (篠竹利和 訳)	1
------------------	--------------------	---

〈特集〉	変性意識状態 (Altered States of Consciousness)	
	「変性意識状態 (ASC)」特集について ……………	斎藤稔正 6
	最近の変性意識状態研究の諸相 ……………	斎藤稔正 8
	宗教的修行とASC ……………	恩田 彰 17
	変性意識状態 (ASC) とコスモロジー	
	—シャーマンのtranceをめぐって— ……………	大橋英寿・松岡和生 25
	至高体験—その特徴と至高体験者の精神的健康度— ……………	坂入洋右 35
〈展望〉	戦後催眠歯科の歩みと展望 ……………	山下 幸 44
〈編集規定〉	……………	49

**催眠学研究 第37巻 第1号 平成5年 4月発行**

〈原著〉	思考の変化と主観的意識状態の関連性 ……………	福原浩之 1
	催眠感受性の日内変動 ……………	斎藤稔正・加納友子 6
〈催眠研究の海外事情〉		
	第1部 北米編 ……………	高石 昇 宮田敬一 中島節夫 13
	第2部 ヨーロッパ・南米編 ……………	斎藤稔正 笠井 仁 柴田 出 20
〈シンポジウム〉	行のもつ今日的意義について	
	司会のことば・まとめ ……………	水島恵一 32
	心理学の立場から ……………	成瀬悟策 33
	宗教的立場から ……………	恩田 彰 36
	能楽における「習道論」の展開—観世寿夫の所説から— 田口和夫 39	
	東洋思想から考える ……………	石田秀美 41
〈書評〉	ジャン・チュイリエ著・「眠りの魔術師メスマー」	
	ヴィンセント・プラネリ著・「ウィーンから来た魔術師—精神医学の先駆者メスマーの生涯」 ……………	笠井 仁 46

〈海外の動き〉	50
〈大会目録〉 日本催眠医学心理学会第38回大会発表演題	52
〈学会報〉	53

**催眠学研究 第37巻 第2号 平成5年 9月発行**

〈原著〉 暗算熟達者のイメージ能力と数の保持機能・津川秀夫・長谷川浩一	1
意識状態の変化の周期性と痛みの感受性との関連性	7
〈資料〉 東洋的行法におけるイメージの研究 第1報	
—清浄道論における「遍」を用いた修行を中心としたイメージ面接のための基礎的研究—	高橋良博・森山敏文 13
イメージによるパーソナリティ・アセスメント	
—イメージ分析療法における治療導入期の再検討—	篠竹利和 21
〈書評〉 シモン・バドマン編「ブリーフ・セラピー」他	高石 昇 28
〈海外の動き〉	31
〈日本催眠医学心理学会研究会・研修会の報告〉	野村勝彦 34
〈学会報〉	36

**催眠学研究 第38巻 第1号 平成6年 4月発行**

〈特別論文〉 催眠理論の再構築	成瀬悟策 1
〈原著〉 Creative Hypnosis	Vladimir L. Raikov 5
解離性体験と催眠感受性との関連	田辺 肇・笠井 仁 12
TM（超越瞑想）実習のストレス場面に及ぼす心理生理的効果の研究	齋藤義浩・佐々木雄二 20
〈シンポジウム〉 催眠下の意識体験	
司会のことば	高橋良幸 27

	催眠下の意識体験 ……………	河野良和	28
	催眠下の意識体験 ……………	中島節夫	33
	催眠の新しいパラダイムの提起 ……………	斎藤稔正	37
〈海外の動き〉	……………		42
〈学会報〉	……………		45

**催眠学研究 第38巻 第2号 平成6年 9月発行**

〈原著〉	ゴルフのパッティングにおけるメンタル・プラクティスと動作法の効果について ……………	今野義孝	1
	想像活動への関与に関する研究：測定尺度の作成と妥当性の検討 ……………	笠井 仁・井上忠典	9
〈特集〉	「生体リズムと催眠」		
	「生体リズムと催眠」特集について ……………	中島節夫	21
	生物時計とヒトの概日リズム ……………	島本昌和・長谷川建治・中島節夫・三浦貞則	23
	持続催眠，自律訓練法の生体リズムに及ぼす影響 ……………	中島節夫・島本昌和	34
	意識のリズムと催眠感受性の日内変動 ……………	斎藤稔正	42
	意識状態のウルトラディアンリズム ……………	福原浩之	48
〈書評〉	スティーヴン・ハッサン著「マインド・コントロールの恐怖」 ……………	田嶋誠一	57
〈海外の動き〉	……………		59
〈学会報〉	……………		63

**催眠学研究 第39巻 第1号 平成7年 4月発行**

〈症例報告〉	母子同席面接における催眠療法的アプローチ ……………	吉川 悟	1
〈原著〉	イメージの「場の変化」操作の技法について		
	ーイメージ分析療法による事例を通してー ……………	八巻 秀	7
	自律訓練法の不安低減効果と練習中の諸反応 ……………	坂入洋右	12

〈論 評〉	フロイトの催眠暗示による治療	笠井 仁	18
〈シンポジウム〉	催眠と記憶		
	いくつかの古典的研究から	高橋良幸	26
	司法領域における催眠の利用を中心に	斎藤稔正	30
	催眠による心因性健忘の記憶の回復	鶴 光代	34
	認知的観点から	齋藤俊一	39
	シンポジウム・コメント	成瀬悟策	43
〈書 評〉	宮田敬一編「ブリーフセラピー入門」	森山敏文	45
〈海外の動き〉			46
〈大会目録〉	日本催眠医学心理学会第40回大会発表演題		48
〈学会報〉			50

催眠学研究 第39巻 第2号 平成7年 9月発行

〈原 著〉	解離性体験と心的外傷体験との関連		
	—日本版DES (Dissociative Experience Scale) の構成概念妥当性の検討—	田辺 肇	1
	催眠感受性検査が脳波に及ぼす影響	時田 学・山岡 淳・花沢成一	11
〈特 集〉	「エリクソンの催眠療法」		
	「エリクソンの催眠療法」特集について	窪田文子・吉川吉美	16
	エリクソンの催眠療法	窪田文子	17
	エリクソンを学ぶ—治療モデルと言語パターン—	津川秀夫	21
	ストラテジックセラピーにおける催眠の利用	宮田敬一	29
〈書 評〉	ウォルバーグ L. R. 著「催眠分析」	前田重治	35
〈海外の動き〉			37
〈学会報〉			40



〈特別寄稿論文〉	近代日本の催眠受容をめぐる	一柳廣孝	1
〈原著〉	ユニークな解離性とん走症例の催眠アプローチ	高石 昇	8
	軽催眠下における抑うつ者の攻撃性	鈴木常元・佐々木雄二	16
〈事例報告〉	自由持続催眠療法	元田克己	23
〈評論〉	SCEH vs. ASCH とミルトン・エリクソン	成瀬悟策	30
	催眠療法の発展・進歩	林 茂男	34
〈シンポジウム〉	催眠研究の今日的課題ー催眠研究の新しいパラダイムを求めてー		
	司会者のコメント	林 茂男	39
	宗教学の立場から	浅見定雄	40
	パラダイム論から眺めた催眠医学	井山弘幸	43
	社会心理学の立場から	菊池章夫	47
	精神医学の立場から	中島節夫	50
〈書評〉	成瀬悟策著「臨床動作学基礎」	高橋良幸	57
	栗山一八著「催眠面接の臨床」	田中新正	61
〈海外の動き〉			63
〈大会発表演題〉	日本催眠医学心理学会第41回大会発表演題		67
〈学会報〉			69

〈原 著〉	女子大学生における変性意識状態と性格ならびに不安との関連 ……………大宮司 信・小川日登美・山内優子	1
	自律訓練法が情動イメージ想起時の心理的・生理的反応に及ぼす効果 ……………小泉晋一	8
	語彙分析の方法による自己催眠イメージ体験の流れ —語彙の数の観点から— ……………門前 進	17
	身体の動きがイメージに与える影響 —語彙分類によるイメージ内容分析の観点から— ……………藤城有美子・門前 進	25
〈資 料〉	腕の脱力の困難さについての再確認……………葛西俊治	34
	Chevreul 振子暗示に関する生理心理学的研究 —振幅方向の変化と皮膚電位水準の関係— ……………笠原 彰・福田将史	41
	イメージ分析療法における「イミ」を用いた導入法……………井上忠典	46
〈事 例 報 告〉	赤面恐怖を訴える男性への系統的脱感作療法 —自律訓練法による観察自己イメージが有効であった事例— ……………渡久山朝裕	52
〈評 論〉	ミルトン・エリクソン学習について思う……………高石 昇	60
〈討 論〉	成瀬論文「催眠理論の再構築」を読んで……………高石 昇	64
〈書 評〉	成瀬悟策編「催眠療法を考える」……………吉川 悟	66
	オハンロン著「ミルトン・エリクソン入門」……………遠山宜哉	68
	河野良和著「「悩み」に負けない！心が強くなる新逆転発想法」 ……………松木 繁	70
〈海外の動き〉	……………	72
〈学 会 報〉	……………	75

〈原 著〉	快で活性度の高い感情における否定形暗示文の影響 .....宮下敏恵・門前 進	1
	暗示構造が反応に及ぼす影響.....堀江太郎・長谷川浩一	11
	ウルトラディアンリズムと大脳半球機能優位性との関連 .....斎藤義浩・佐々木雄二	18
〈シンポジウム〉	トランスの治療的意義	
	司会者のコメント .....斎藤稔正	23
	臨床催眠の立場からー心理治療と乖離現象という視座を中心として ー .....森山敏文	25
	シャーマニズムにおけるトランスと治病儀礼 .....佐藤憲昭	32
	憑依における「やまい」と「いやし」 ートランスの治療的意義をめぐってー .....大宮司 信	39
〈討 論〉	高石さんの「読んで」を読んで.....成瀬悟策	46
	『「読んで」を読んで』を読んで.....高石 昇	53
〈書 評〉	門前 進著「イメージ自己体験法ー心を味わい豊にするためにー」 .....今野義孝	58
	佐々木雄二著「自律訓練法の臨床ー心身医学から臨床心理学へー」 .....河野良和	60
〈海外の動き〉	.....	62
〈大会発表演題〉	日本催眠医学心理学会第42回大会発表演題.....	64
〈学 会 報〉	.....	67

〈特別寄稿論文〉	セルフ・コントロールとマインド・コントロール ーヒーラーの条件ー .....小田 晋	1
〈原 著〉	自律訓練法がイメージ体験と生理的反応に及ぼす効果.....小泉晋一	9

	イメージ特性に対する身体の動きの影響……藤城有美子・門前 進	16
	音声の量的・質的变化からみた催眠状態の特徴 ……………加賀谷崇文・門前 進	24
〈資	料〉催眠法及び自律訓練法がスケート選手のイメージトレーニングに及ぼす 影響……………齋藤雅英・花沢成一	33
	変性意識状態と解離傾向との関連—ASC 検査と DES とを用いた尺度による 検討—……………田辺 肇・大宮司 信	40
〈事	例 報 告〉体験様式変容のための FCR (Fully Communicating Relationship) 面接の 3 事例—クライアント中心の催眠法として—…………長谷川博一	46
〈討	論〉高石さんへのお応え・2……………成瀬悟策	57
	とぼっちりをうけて……………河野良和	61
〈書	評〉成瀬悟策著「催眠の科学—誤解と偏見を解く—」……………花沢成一	63
	ブライアン・イングリス著「トランス—心の神秘を探る—」 ……………鈴木一代	65
〈海	外 の 動 き〉……………高石 昇・窪田文子	67
〈学	会 報〉……………	71

催眠学研究 第 43 巻 第 1 号 平成 10 年 4 月発行

〈特別寄稿論文〉	Mindbody healing in hypnosis : Immediate-Early Genes and the deep psychobiology of psychotherapy ……………Ernest Lawrence Rossi	1
〈原	著〉身体化障害, 人格障害を持つ学生に対する催眠アプローチ ……………櫻井佐紀子	11
	不快で活性度の高い行動感覚における否定形暗示文の影響 ……………宮下敏恵	20
	女子大学生における変性意識状態とイメージとの関連 —ASC 検査と III, QMI, TVIC の相関— ……………大宮司 信・川村 円・木村陽子・笠井 仁	30

〈資 料〉	トランス体験の文化間比較ーバリ島の場合についてー……鈴木一代	41
	催眠時における暗示語の研究ースポーツ種目と暗示語についてー ……………立谷泰久・鍋谷 照・楠本恭久・長田一臣	46
〈講 演 記 録〉	催眠現象の問題整理 ……………成瀬悟策	55
〈書 評〉	ジェイ・ヘイリー編「ミルトン・エリクソンの催眠療法」 ……………木村敦子	62
〈海 外 の 動 き〉	……………高石 昇	64
〈大会発表演題〉	日本催眠医学心理学会第43回大会発表演題 ……………	69
〈学 会 報〉	……………	72

**催眠学研究 第43巻 第2号 平成10年 9月発行**

〈原 著〉	自己催眠イメージ体験における流れ ー今の体験のあとの体験への影響ー ……………門前 進	1
	「あわせ」と「つられ」という観点から見た暗示現象の成立について ー歌を歌うという課題を用いてー ……………白石真粧美・門前 進	9
	被暗示性から見た同調現象について ……………平部正樹・門前 進	17
〈資 料〉	退行催眠を応用した神経性過食症の一事例 ……………元田克己	25
〈講 演 〉	催眠療法の新しい動向 ……………高石 昇	33
〈学 会 報〉	……………	39

**催眠学研究 第44巻 第1号 平成11年 4月発行**

〈特別寄稿論文〉	臨床動作法から催眠治療を考える ……………成瀬悟策	1
〈原 著〉	いくつかの典型的な暗示によって生じる意識状態の特徴比較 ー顔面表情筋反応を指標としてー ……………山極和佳・門前 進	8

	イメージ療法におけるイメージの間主体性 ……………	八巻 秀	19
	解離性健忘の治療経験		
	—催眠と記憶回復, とくに司法催眠の議論をめぐって— ……	高石 昇	27
	視覚領域における否定形暗示文の影響		
	—語彙分析の観点から— ……………	宮下敏恵	36
	からだの動きと言語教示がイメージの感覚的側面に与える影響		
	……………	藤城有美子・門前 進	45
	自律訓練法による月経随伴症状軽減に関する研究		
	—女子スポーツ選手を対象として— 岩本陽子・楠本恭久・長田一臣		56
〈書 評〉	アーネスト・L・ロッシ著「精神生物学」 ……………	斎藤稔正	66
	マリン・E・ハンター著「催眠法」 ……………	畠中雄平	68
	ウーフィット・R. 著「人は不思議な体験をどう語るか」・田辺 肇		70
〈大会発表演題〉	日本催眠医学心理学会第44回大会発表演題 ……………		72
〈学 会 報〉	……………		74

**催眠学研究 第44巻 第2号 平成11年10月発行**

〈追 悼 記〉	……………	佐々木雄二	1
〈原 著〉	不安傾向とイメージ体験の関連		
	—主にイメージ体験の様式について— ……………	松本明夫	3
	心理療法としての「イメージ動作法」の試み ……………	富永良喜	9
	想像活動への没入傾向とパーソナリティ特性との関係 ……	笠井 仁	17
〈資 料〉	自己催眠イメージ体験が後続の自己催眠イメージ体験に与える影響とそ の特徴		
	……………	門前 進・藤城有美子・加賀谷崇文・山極和佳・宮下敏恵	23
〈International Journal of Clinical and Experimental Hypnosis 要約〉	……………	笠井 仁	31
〈学 会 報〉	……………		39

〈特別寄稿論文〉	催眠の未来 ……………	H. ヴァールネファー	1
〈原 著〉	思い治療論における問題意識の取り扱いについて ……	阿部真里子	10
〈資 料〉	ラグビー競技における動作法とイメージ・トレーニングの効果 ……………	今野義孝	17
	イメージへの没入性と性格および不安との関連 ……………	大宮司 信・芳賀あい子・笠井 仁	24
〈事例報告〉	成人吃音者に対する電話を用いた催眠療法 ……………	小川幸男	30
〈書 評〉	デビット・J. ハフォード著「夜に訪れる恐怖」 ……………	笠井 仁	37
	B. W. スコットン・A. B. チネン・J. R. バティスタ編 「テキスト トランスパーソナル心理学・精神医学」 ……	斎藤義浩	39
〈International Journal of Clinical and Experimental Hypnosis 要約〉	…		41
〈大会発表演題〉	日本催眠医学心理学会第45回大会発表演題 ……………		45
〈学会報〉	……………		47

〈原 著〉	催眠療法を間主体的現象として考える —事例を通しての検討— ……………	八巻 秀	1
〈資 料〉	バリ人とトランス ……………	鈴木一代	8
〈特集論文〉	催眠と意識現象 (第I部)		
	企画のことば ……………	笠井 仁	16
	催眠と意識現象—時間的に変動するトランス— ……………	斎藤稔正	17
	精神生理学の立場から見た催眠 —睡眠時の諸現象との比較から分かること— ……………	福田一彦	23

〈書評〉	ディードリ・バレット著 「妊娠した男—催眠セラピストの7つのカルテ—」 ……井上忠典 30
	フランク・W・パトナム他「多重人格障害—その精神生理学的研究—」 ……………田辺 肇 32
	D. L. アローズ・M. A. キャレッセ著 「適応障害の解決—解決志向ブリーフセラピーによるアプローチ—」 ……………小川幸男 35
	〈International Journal of Clinical and Experimental Hypnosis 要約〉 … 37
	〈大会発表演題〉 日本催眠医学心理学会第46回大会発表演題 …… 40
	〈学会報〉 …… 43

**催眠学研究 第46巻 第1号 平成13年 8月発行**

〈特別寄稿論文〉	20世紀の催眠が医学に与えた影響 …… 佐々木雄二 1
	20世紀の催眠が果たした役割 —心理学を中心として— …… 斎藤稔正 17
〈原著〉	被催眠者の呼吸を手がかりとした催眠誘導法に関する研究 …………… 三村 覚・立谷泰久・長田一臣・楠本恭久 24
	自己暗示の呈示様式が暗示の体験に及ぼす影響 …………… 田村英恵・笠井 仁・佐々木雄二 31
〈資料〉	大学生の催眠観に関する調査 …… 小泉晋一 40
〈事例報告〉	転換性障害（失声）の一入院治療例—催眠トランスの利用— …………… 加藤一郎・中條 拓・築島 健 47
〈書評〉	笠井 仁著「ストレスに克つ自律訓練法」 …… 松木 繁 55
	〈International Journal of Clinical and Experimental Hypnosis 要約〉 … 57
	〈学会報〉 …… 60



〈追悼記〉 Dr. Ernest R. Hilgard の死を悼む ……………	斎藤稔正	1
〈原著〉 治療抵抗を催眠現象として見立てることを利用したアプローチ — 「催眠療法でないと治らない」と主張した事例— ……………	吉川 悟	2
〈症例報告〉 催眠療法と交代人格：身体化障害の1例 ……………	久保田修司	8
〈書評〉 W. H. オハロン・M. マーチン著 「ミルトン・エリクソンの催眠療法入門」 ……………	築島 健	15
〈International Journal of Clinical and Experimental Hypnosis 要約〉 …		17
〈大会発表演題〉 日本催眠医学心理学会第47回大会発表演題 ……………		22
〈日本催眠医学心理学会認定資格関係諸規則改正について〉 ……………		25
〈学会報〉 ……………		28
〈研究会報告と案内〉 ……………		40

〈特別寄稿論文〉 日本での自律訓練事始め ……………	河野良和	1
〈原著〉 初回自律訓練法実施に伴う心理的反応および心臓自律神経機能について ……………	政本 香・齋藤雅英・依田麻子・久我隆一	15
〈論評〉 催眠による目撃者の記憶の想起促進 ……………	越智啓太	23
〈書評〉 藤原勝紀著「三角形イメージ体験法」 ……………	門前 進	31
〈International Journal of Clinical and Experimental Hypnosis 要約〉 …		33
〈学会報〉 ……………		37

〈研究会報告〉	51
---------	----

**催眠学研究 第47巻 第2号 平成15年12月発行**

〈原著〉催眠療法における“共感性”に関する一考察	松木 繁 1
意識体験治療論（暗示論）による自律訓練法 I	河野良和 9
認知的評価における催眠状態の特徴 —達成要求と不安感および課題達成度との関連—	山極和佳・門前 進・加賀谷崇文・新井雅人 16
〈特集論文〉対話療法の中で催眠を利用し，工夫することについて —治療的な交流の関係・トランス・語り合うという視点から—	森山敏文 27
〈International Journal of Clinical and Experimental Hypnosis 要約〉	34
〈大会発表演題〉日本催眠医学心理学会第48回大会発表演題	38
〈学会報〉	41
〈研究会報告と案内〉	58

**催眠学研究 第48巻 第1号 平成16年12月発行**

〈事例研究〉書癩の心身医学的治療に催眠を利用した一入院治療例	吉村隆之・赤嶺真理子・松原 慎・菅原英世・久保千春 1
〈資料論文〉重感暗示呈示中の受動的注意集中および積極的イメージ想起による自律神経機能変化傾向の比較	菅生貴之・立谷泰久・三村 覚・長田一臣・楠本恭久 10
〈論 評〉催眠と意識現象—「解離」概念の検討—	田辺 肇 20
〈書 評〉アニーズ・A. シェイク編 成瀬悟策監訳「イメージ療法ハンドブック」	井上忠典 30

〈International Journal of Clinical and Experimental Hypnosis 要約〉 … 32

〈学 会 報〉 …………… 37

**催眠学研究 第48巻 第2号 平成17年 3月発行**

〈特別寄稿論文〉 催眠と心身医学の歴史と展開 ……………久保千春・松原 慎 1

〈特 集 論 文〉 心身医学的症状と催眠—エリクソニアン催眠を中心に— …中島 央 9  
心身症に対する催眠療法の有用性について

……………荒木登茂子・十川 博・久保千春 18

「驚き」と治療動機づけ ……………松原秀樹 25

〈International Journal of Clinical and Experimental Hypnosis 要約〉 … 33

〈大会発表演題〉 日本催眠医学心理学会第49回大会発表演題 …………… 39

〈学 会 報〉 …………… 42

**催眠学研究 第49巻 第1号 平成17年12月発行**

〈招 待 講 演〉

State Model of Hypnosis ……………Jeffrey K. Zeig 1

〈原 著 論 文〉

競技スポーツにおける自律訓練法の「温感公式」と「温感暗示」の心理生理的効果の  
比較 ……………立谷泰久・三村 覚・菅生貴之・長田一臣・楠本恭久 9

意識体験治療論による自律訓練法 —II-a 意識体験と注意— ……………河野良和 18

受動的注意集中と能動的注意集中の心理生理的反応の比較 ……………佐瀬竜一 28

〈International Journal of Clinical and Experimental Hypnosis 要約〉 … 37

〈学 会 報〉 …………… 41

## 〈特別寄稿論文〉

根源的意識としての催眠 —催眠理論の構築— …………… 斎藤稔正 1

## 〈原著論文〉

神経因性疼痛（CRPS I型）に対する自律訓練 —催眠的構造化の試みとその結果—  
…………… 水谷みゆき 7

## 〈特集論文〉

利用アプローチによる援助関係の変化 …………… 秋山邦久 20  
「関係性」という視点から見た催眠臨床—トランス空間とオートポイエーシス  
…………… 八巻 秀 28

〈International Journal of Clinical and Experimental Hypnosis 要約〉 … 36

〈大会発表演題〉 日本催眠医学心理学会第50回記念大会発表演題 …………… 41

〈学会報〉 …………… 45

## 〈招待講演〉

催眠とポジティブ・サイコロジー：抑うつを乗り越えるために  
…………… マイケル・D.ヤプコ 1

## 〈原著論文〉

開眼と閉眼における自律訓練法の心理・生理的反応の比較  
—自律訓練法初心者の重感・温感練習の心理・生理的覚醒水準と主観的評価から—  
…………… 高井 秀明・楠本 恭久 14

## 〈特集論文：催眠療法の新たな展開〉

ブリーフセラピーに催眠的介入を組み入れることの意義 …………… 宮田 敬一 21

〈大会発表演題〉 日本催眠医学心理学会第53回大会発表演題 …………… 29

〈招待講演〉

催眠療法における言語……………スティーブ・ランクトン 1

〈教育講演〉

Schultzの自律訓練から Bionomic 心理療法への統合的発展  
……………ウォルター・オルル 13

〈原著論文〉

成人愛着スタイルと解離傾向の組み合わせが心理的健康に及ぼす影響  
……………福井 義一 17

漸進的弛緩法と自律訓練法の継続的練習が競技不安と主観的評価に及ぼす影響  
……………高井 秀明・辻 昇一・楠本 恭久 28

〈大会発表演題〉 日本催眠医学心理学会第54回大会発表演題…………… 35

〈お知らせ〉 「学会認定資格の名称変更について」…………… 38

〈追悼記〉

宮田敬一先生の死を悼む……………齋藤 稔正 3

宮田敬一先生を偲ぶ……………長谷川 明弘 5

〈特別寄稿論文〉

催眠によるペイン・コントローラーその課題と展望―……………齋藤 稔正 7

〈原著論文〉

催眠による認知的評価と痛みの変化に関する研究  
……………安達 友紀・宮田 敬一・中江 文・柴田 政彦 14

〈論評〉

催眠療法と痛みのコントローラーリエージュ大学を視察して―  
……………佐藤 欣也 23

〈対談講演〉

生きているということを考える：催眠を視座にして  
……………成瀬 悟策・内藤 いづみ 31

〈大会発表演題〉 日本催眠医学心理学会第 55 回大会発表演題 …………… 40

**催眠学研究 第 54 卷 第 1-2 合併号 平成 24 年 10 月発行**

〈基調講演〉

情動調整と催眠……………キャロライン・ダイチ 1

〈原著論文〉

福来友吉の催眠研究に関する文献調査……………小泉 晋一 12

自己の変動性,多面性と解離との関連—自己ゆらぎ尺度による検討  
……………安達 知郎 21

〈特別寄稿論文〉

催眠による痛みのコントロール—実証的検討—……………水谷 みゆき 32

〈大会発表演題〉 日本催眠医学心理学会第 56 回大会発表演題 …………… 57

**催眠学研究 第 55 卷 第 1-2 合併号 平成 27 年 3 月発行**

〈資料論文〉

A need of a common set of descriptors for hypnosis in the treatment of pain  
—From a mail-survey conducted internationally—  
…………… Miyuki Mizutani 1

〈事例研究〉

催眠による慢性痛のセルフコントロール—腰痛を持った青年の事例を通して考える—  
……………水谷みゆき 10

〈書評〉

『解決指向催眠実践ガイド』(ビル・オハンロン著・上地明彦訳)  
……………長谷川明弘 23

〈大会発表演題〉 日本催眠医学心理学会第 57 回・第 58 回大会発表演題 ……………25

〈学 会 報〉 …………… 31

催眠学研究 第 56 卷 第 1-2 合併号 平成 29 年 7 月発行

〈企 画 論 文〉

トップアスリートの意識・ことば・からだ

…………… 立谷泰久・楠本恭久・若松久道 ・村田由香里・田中新正 1

〈International Journal of Clinical and Experimental Hypnosis 要約〉

……………片山宗紀・松木 繁 17

〈大会発表演題〉 日本催眠医学心理学会第 59 回大会発表演題 ……………22

〈学 会 報〉 …………… 24